

函館市(北海道)の一体的実施

平成24年4月1日事業開始

市役所において、ハローワークによる職業相談・職業紹介と、市の実施する生活相談、各種支援制度に関する相談・情報提供等を一体的・総合的に実施

函館市

キャリア・カウンセリング、
各種支援制度の情報提供等

① 事業内容

- ・生計の維持、生活福祉資金貸付制度、公営住宅の入居等に関する相談・情報提供
- ・函館市及び他機関が実施する様々な雇用・労働関連事業等の情報提供
- ・市役所内窓口、ハローワークとの連絡調整等
- ・求職者に対する職業紹介・職業相談

② 協定・事業計画

- ・函館市長と北海道労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を函館市と北海道労働局の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定。

③ 運営協議会

- ・函館市職員、北海道労働局職員をメンバーとする運営協議会を設置。
(函館市経済部長が会長)



国

職業紹介・職業相談の実施等

市役所内で市の生活相談とハローワークの職業紹介業務を一体的に実施することにより、市の福祉等の窓口との連携が円滑となり、きめ細やかな就労支援を実現。

(1) 実施体制

函館市

- ・生活相談員1名を配置

国

- ・職業相談員2名を配置
- ・求人情報提供端末3台、職業紹介端末2台を配置

(2) 事業目標と取組状況(25年度)

事業目標	取組状況(平成25年10月末時点)
利用者数 4,300人 (平成24年度目標 5,000人)	利用者数 2,602人 (平成24年10月末実績 2,556人)
相談件数 3,000件 (平成24年度目標 3,500件)	相談件数 1,858件 (平成24年10月末実績 1,798件)
紹介件数 1,000件 (平成24年度目標 1,500件)	紹介件数 724件 (平成24年10月末実績 576件)
就職者数 220人 (平成24年度目標 250人)	就職者数 269人 (平成24年10月末実績 140人)

一体的実施事業による就職成功例

女性：32歳 希望職種：事務及び介護員（資格等：ヘルパー2級、保険請求事務）
※これまで事務経験はない

① 訪問の動機

- ・ 離婚後、本人と6歳の子供と二人暮らし、平成23年から生活困窮のため生活保護を受給、市の福祉窓口からの誘導で「しごと相談コーナー」の支援を受け就職を目指すこととした。

② 抱える課題

- ・ 子供が小さいため、勤務時間及び休日等の面で制約がある。
- ・ 本人の希望条件に適合する求人が少ない。

③ 支援内容・ポイント・経過

- ・ 当初、子供と一緒に時間を過ごすため、経験がないものの、夜勤のない事務職を希望。本人の希望に近い事務職求人2件紹介したが不採用となる。
- ・ 本人は結婚前に看護助手の経験が5年あったことから夜勤等のない介護職を視野に入れ、改めて検討。介護員を募集していた事業所の担当者に、本人の置かれている環境を説明したところ、良い人材であれば、本人の希望に沿った条件で採用を検討するとの理解を得たため、紹介面接に至った。

④ 結果

- ・ **介護職員として準社員での就職が決定。** ※支援期間1ヶ月半

⑤ ハローワーク担当者の所感

- ・ 福祉窓口からの的確な誘導と、本人の就労意欲が強く、看護助手の経験が5年あること及び明るく人当たりが良い点と、家庭環境の制約を考慮し面接していただいた事業所担当者の配慮など、全てがプラスに作用しました。

⑥ 本人のコメント（再就職後）

- ・ 経験があるとはいえ介護職は就労条件に制約があり難しいと思っていた。しかし、職業相談員の熱心なサポートのおかげで就職できました。また、採用担当者の方に感謝しています。生活保護の生活から自立できるよう頑張ります。